

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

2024年11月15日

■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

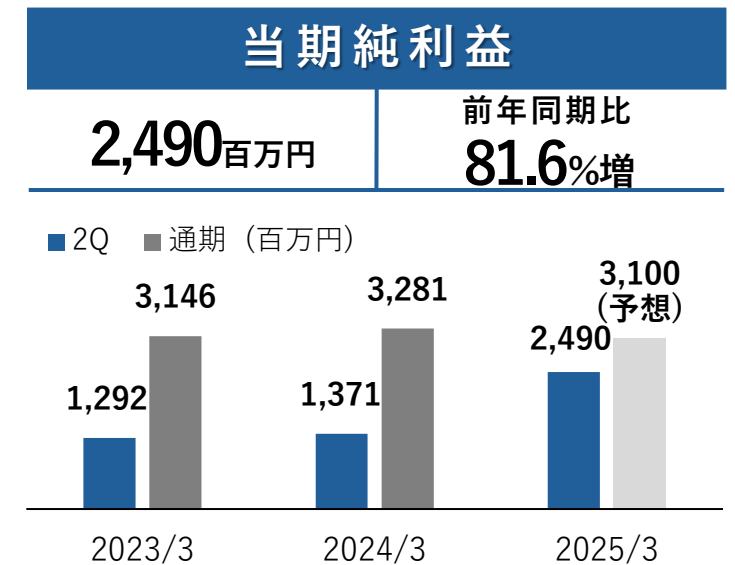
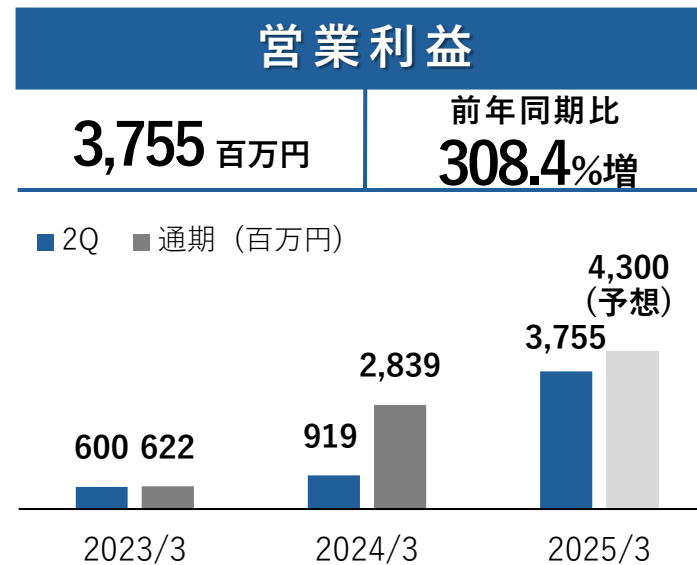
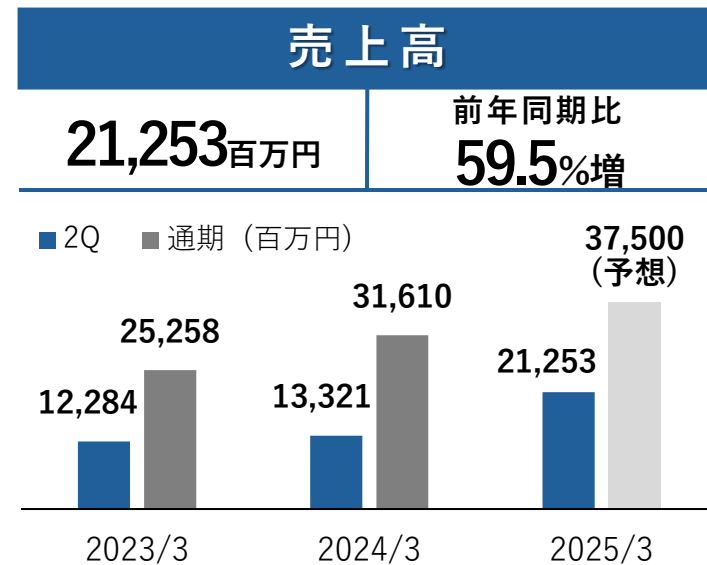
前年同期比で増収増益

■ 売上高

カジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニットの販売が増加
新紙幣の改刷対応による更新需要や紙幣識別機ユニットの販売が増加

■ 営業利益

売上高の増加及び利益率の高い新紙幣の改刷需要の取り込み



■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

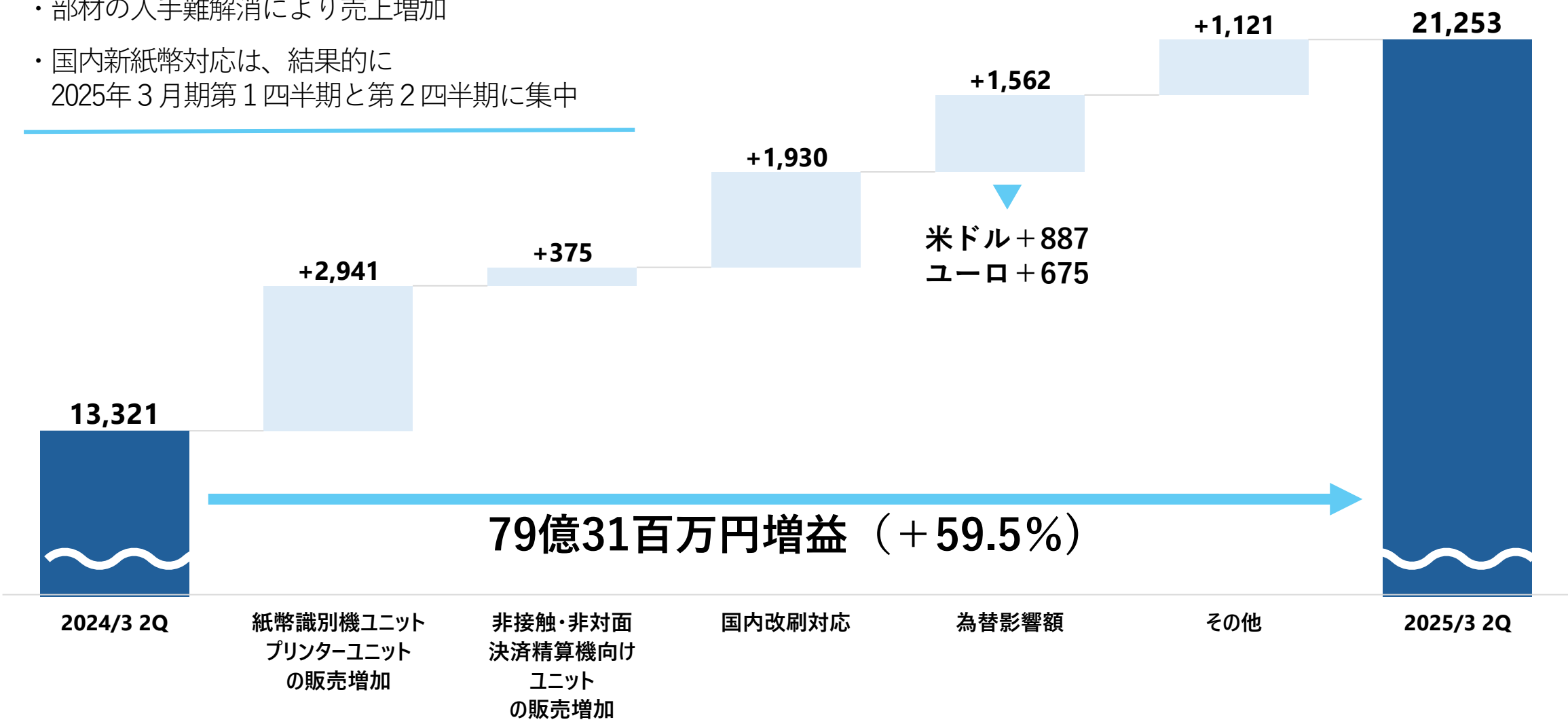
- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

単位：百万円		2024/3 2Q		2025/3 2Q		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		13,321	100.0%	21,253	100.0%	7,931	59.5%
営業利益		919	6.9%	3,755	17.7%	2,836	308.4%
経常利益		1,756	13.2%	2,993	14.1%	1,236	70.4%
中間純利益		1,371	10.3%	2,490	11.7%	1,118	81.6%
1株あたり中間純利益		46.73円		91.80円		+45.07円	
平均為替レート	米ドル	136.54円		154.09円		+17.55円	
	ユーロ	147.93円		166.22円		+18.29円	

単位：百万円

■主な増減要因

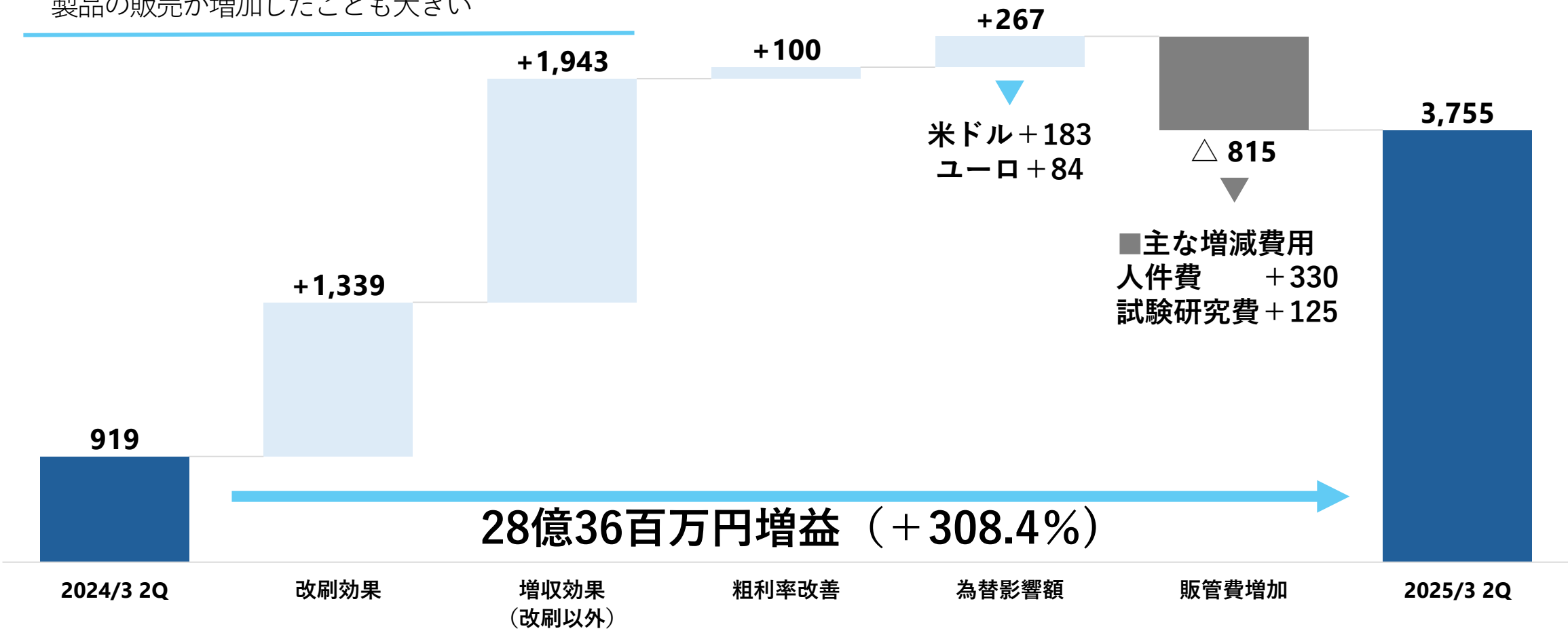
- ・ 部材の入手難解消により売上増加
- ・ 国内新紙幣対応は、結果的に
2025年3月期第1四半期と第2四半期に集中



単位：百万円

■ 主な増減要因

- ・ 海外、国内ともに売上増加による効果が大
- ・ 国内新紙幣の改刷対応における収益性の高い製品の販売が増加したことも大きい



■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

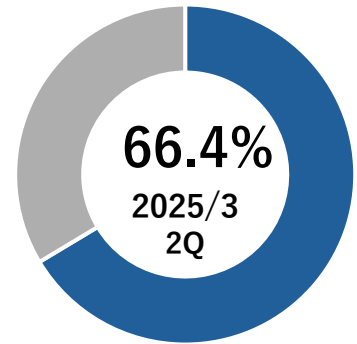
■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

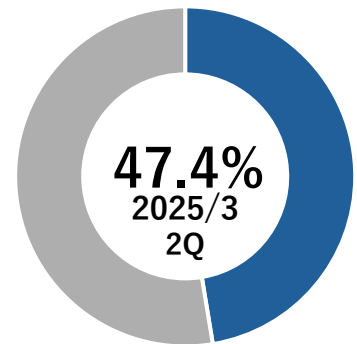
単位：百万円	2024/3 2Q	2025/3 2Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	13,321	21,253	7,931	+59.5%
グローバルゲーミング	6,531	10,684	4,152	+63.6%
海外コマーシャル	2,710	3,436	726	+26.8%
国内コマーシャル	1,017	2,422	1,404	+137.9%
遊技場向機器	3,061	4,710	1,648	+53.9%
営業利益	919	3,755	2,836	+308.4%
グローバルゲーミング	1,075	2,287	1,211	+112.6%
海外コマーシャル	△ 137	△ 172	△ 35	—
国内コマーシャル	28	954	926	+3,291.3%
遊技場向機器	491	1,388	897	+182.6%
調整額 (各セグメントに配分していない全社費用)	△ 538	△ 702	△ 163	—

海外売上高比率



(2024/3 2Q 69.4%)

海外営業利益比率



(2024/3 2Q 64.4%)



■事業概要

主な市場は、北米のカジノや欧州のストリートのゲーム場

カジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホールの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先

スロットマシンメーカー、カジノホテル

■業績概況

カジノホテル等の設備投資意欲は高水準で推移し、紙幣識別機ユニットの販売が大幅に増加

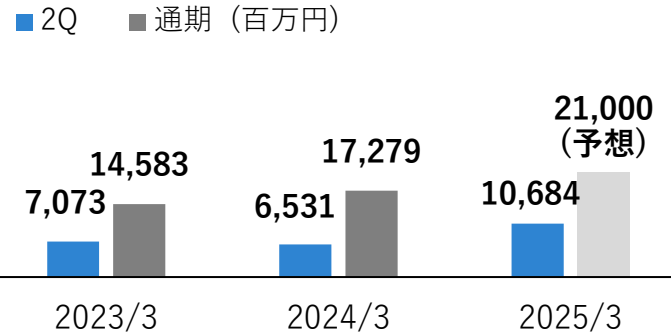
■下半期の見通し

市場環境は良好で引き続き紙幣識別機ユニット等の販売増加を見込む

売上高

10,684 百万円

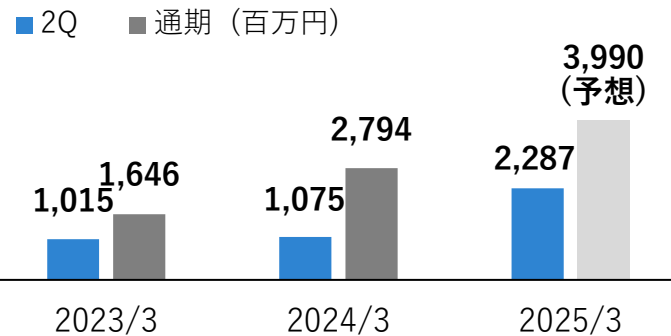
前年同期比
63.6 %増



営業利益

2,287 百万円

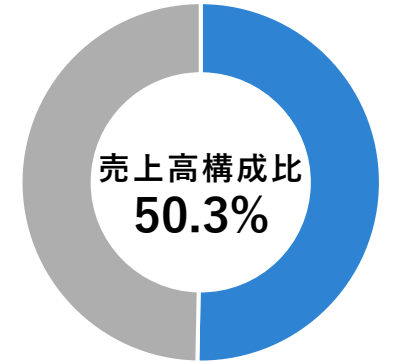
前年同期比
112.6 %増



主な製品



プリンターユニット



紙幣識別機ユニット



カジノホール現金回収業務
自動化システム



テーブルゲームシステム
(紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載)



■事業概要

流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

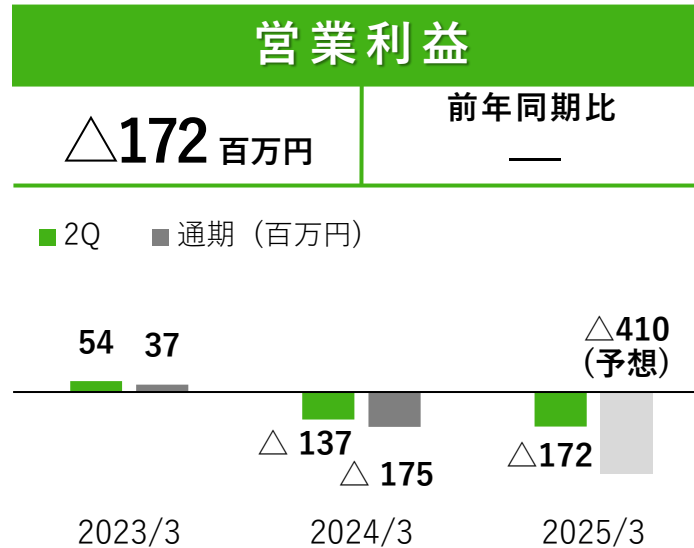
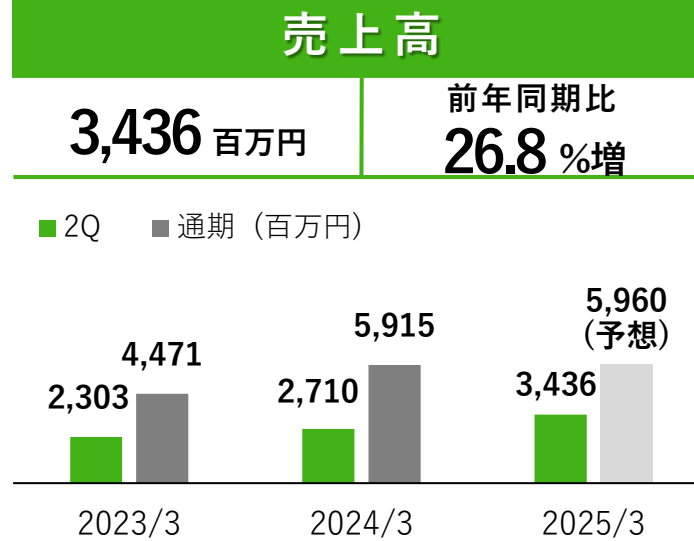
完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

■業績概況

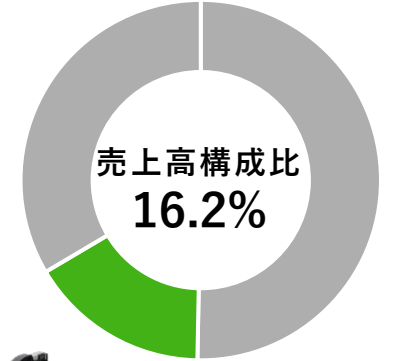
欧州地域におけるセルフレジ精算機に搭載する紙幣還流ユニットの販売増加
北中南米地域の市場開拓に向けた新製品の研究開発等の増加により営業利益は損失計上

■下半期の見通し

新規市場の開拓に時間を要し、期初計画より売上減少を見込む



主な製品



紙幣還流ユニット



自動釣銭機



紙幣識別機ユニット



■事業概要

流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

完成品メーカー
(飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等)

■業績概況

新紙幣の改刷対応に伴う更新需要の増加により売上・利益の増加

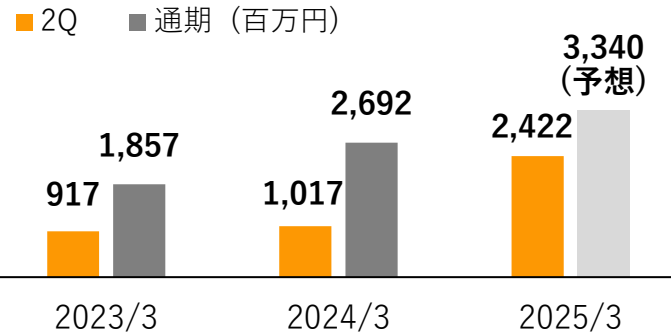
■下半期の見通し

新紙幣の改刷対応に伴う需要が一巡し、下半期の製品需要を一部先食い、利益面の増加は限定的

売上高

2,422 百万円

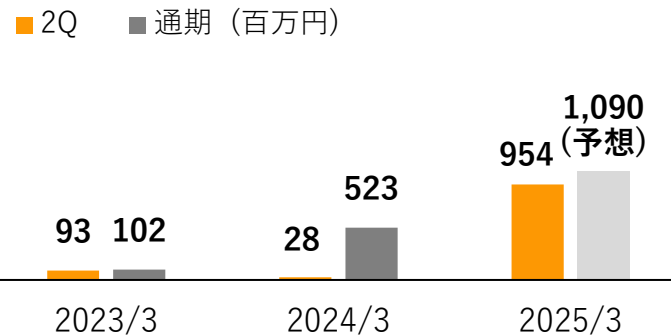
前年同期比
137.9 %増



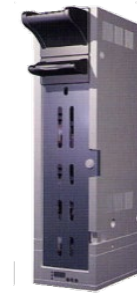
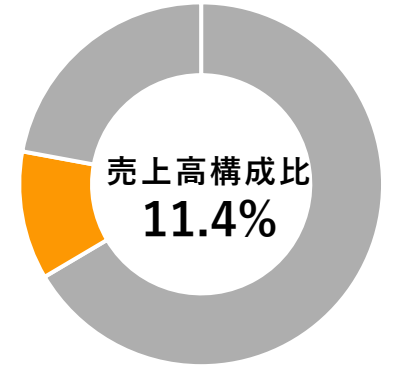
営業利益

954 百万円

前年同期比
3,291.3 %増



主な製品



紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット



キャッシュレス対応
自動精算機



■事業概要

パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先

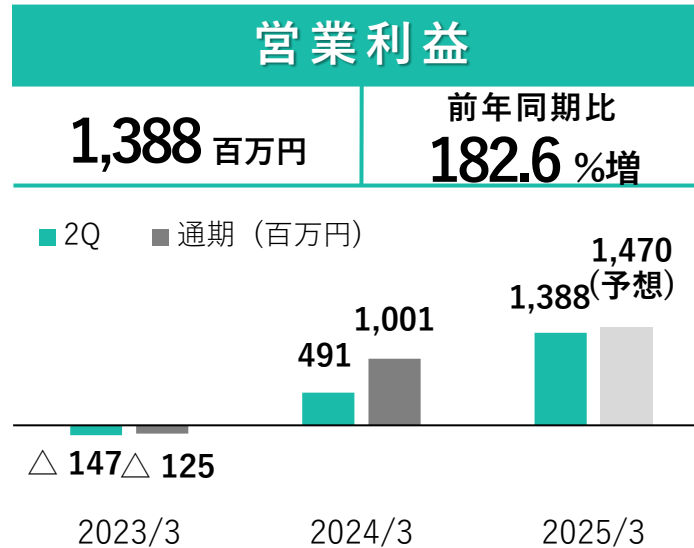
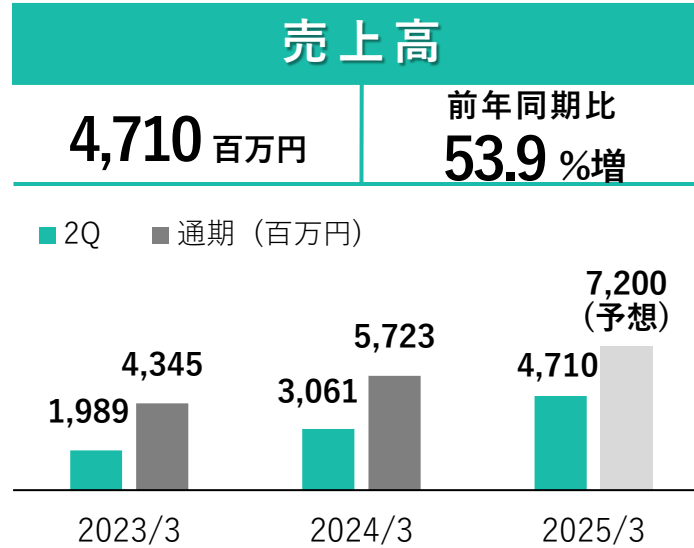
パチンコホール

■業績概況

スマート遊技機専用ユニットの販売が堅調に推移したに加え、新紙幣の改刷対応に伴う紙幣識別機ユニットの販売や、その他の周辺設備機器の販売が増加

■下半期の見通し

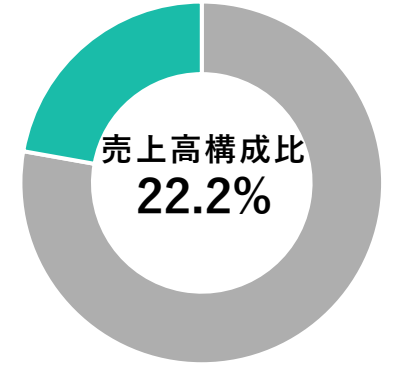
市場におけるスマート遊技機の導入状況は落ち着きつつあり、新紙幣の改刷対応に伴う需要も一巡し、利益面の増加は限定的



主な製品



景品管理POS



紙幣搬送システム



景品払出機



スマート遊技機
専用ユニット

■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

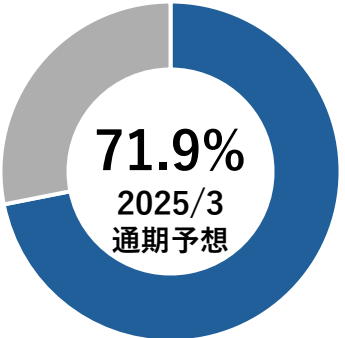
■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

単位：百万円		2024/3						2025/3						前期比 増減
		上半期		下半期		通期		上半期		下半期予想		通期予想		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高		13,321	100.0%	18,288	100.0%	31,610	100.0%	21,253	100.0%	16,246	100.0%	37,500	100.0%	+5,889
営業利益		919	6.9%	1,919	10.5%	2,839	9.0%	3,755	17.7%	544	3.4%	4,300	11.5%	+1,460
経常利益		1,756	13.2%	1,811	9.9%	3,568	11.3%	2,993	14.1%	906	5.6%	3,900	10.4%	+331
当期純利益		1,371	10.3%	1,910	10.4%	3,281	10.4%	2,490	11.7%	609	3.8%	3,100	8.3%	△181
R O E		－		－		11.8%		－		－		10.7%		△1.1pt
1株当たり 当期純利益		46.73円		－		112.59円		91.80円		－		114.76円		+2.17円
平均為替 レート	米ドル	136.54円		145.87円		141.20円		154.09円		149.41円		151.75円		+10.55円
	ユーロ	147.93円		158.46円		153.20円		166.22円		163.80円		165.01円		+11.81円

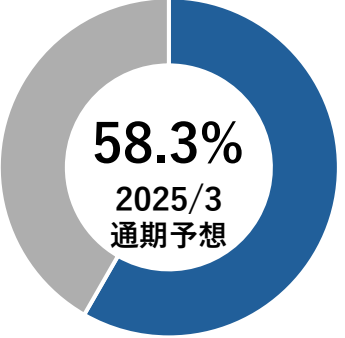
単位：百万円	2024/3			2025/3			前期比 増減額
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期予想	通期予想	
売上高	13,321	18,288	31,610	21,253	16,246	37,500	+5,889
グローバルゲーミング	6,531	10,747	17,279	10,684	10,315	21,000	+3,720
海外コマーシャル	2,710	3,205	5,915	3,436	2,523	5,960	+44
国内コマーシャル	1,017	1,674	2,692	2,422	917	3,340	+647
遊技場向機器	3,061	2,661	5,723	4,710	2,489	7,200	+1,476
営業利益	919	1,919	2,839	3,755	544	4,300	+1,460
グローバルゲーミング	1,075	1,718	2,794	2,287	1,702	3,990	+1,195
海外コマーシャル	△ 137	△ 38	△ 175	△ 172	△ 237	△ 410	△ 234
国内コマーシャル	28	495	523	954	135	1,090	+566
遊技場向機器	491	510	1,001	1,388	81	1,470	+468
調整額 (各セグメントに配分 していない全社費用)	△ 538	△ 766	△ 1,305	△ 702	△ 1,137	△ 1,840	△ 534

海外売上高比率



(2024/3 通期 73.4%)

海外営業利益比率



(2024/3 通期 63.2%)

■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 2025年3月期の中間配当

普通配当 1株当たり14円

■ 2025年3月期の期末配当予想

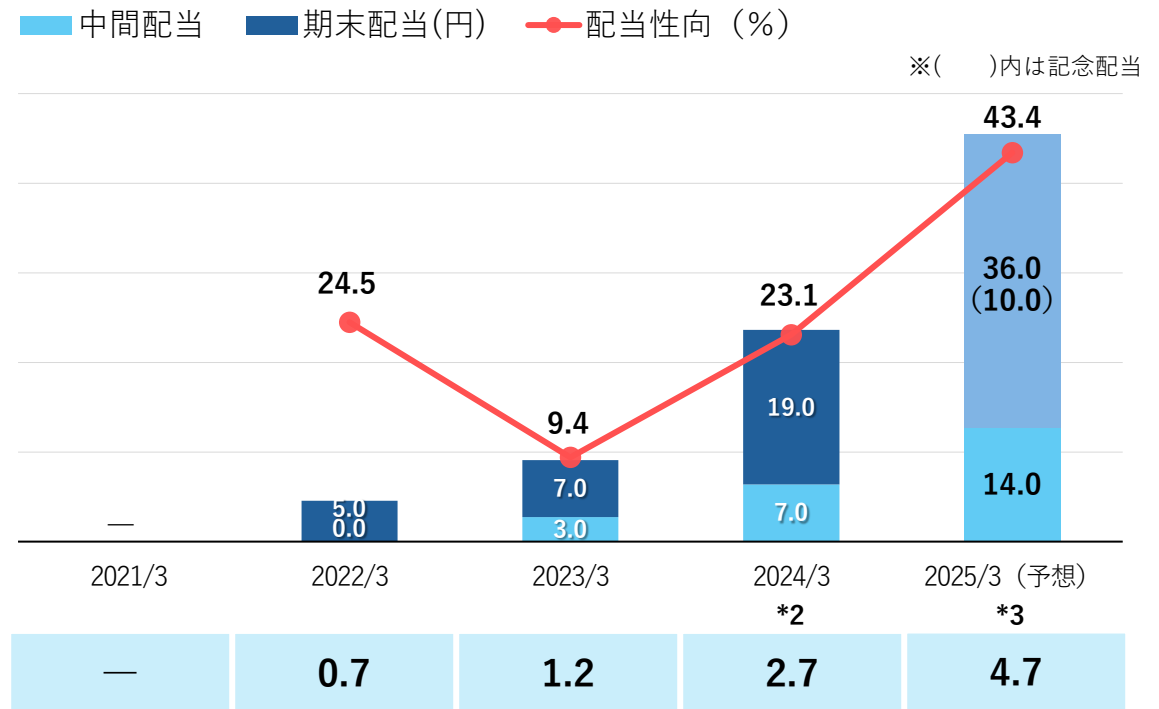
普通配当 1株当たり26円(直近の予想値から12円増配)

記念配当（創立70周年） 1株当たり10円

配当方針

業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）**30%以上** *1
- 純資産配当率（連結）**2.0%以上**



*1 ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。

*2 2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。

*3 2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。

■ 第2四半期連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 参考資料

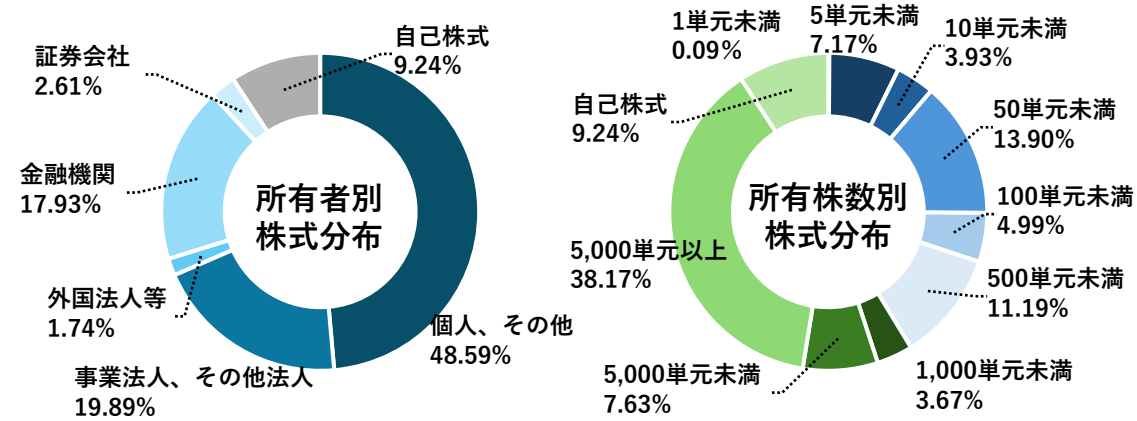
- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長 上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号 パークスサウススクエア

上場区分	東証プライム市場
社員数	564名（2024年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2024年3月31日現在）
事業所	本社（大阪市浪速区）、東京本社（東京都中央区）、長浜工場（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、シカゴ）、ブラジル、ドイツ、タイ、フィリピン

株式の状況（2024年9月30日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	19,454名



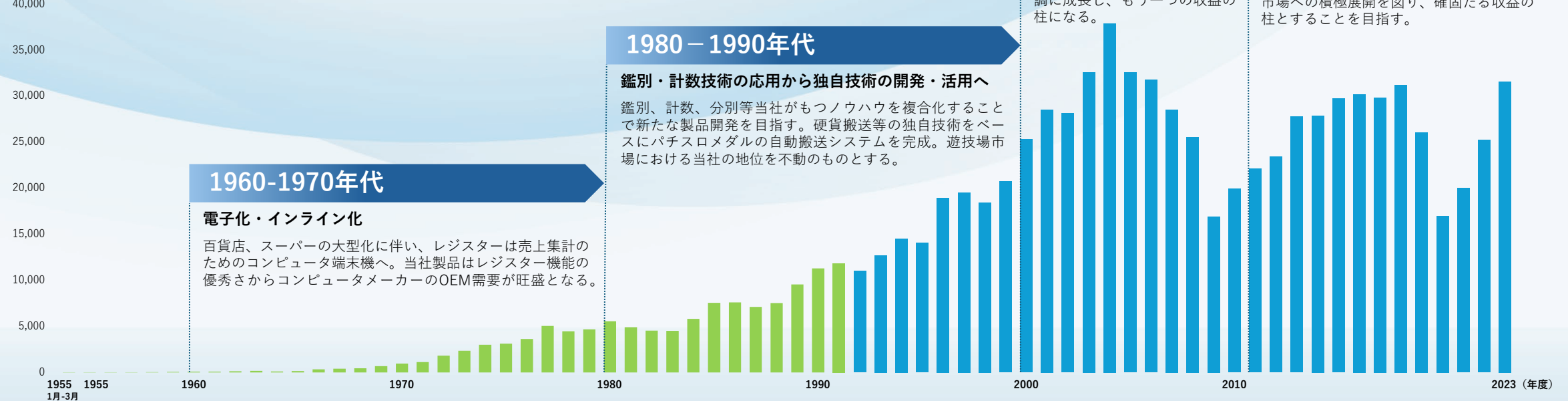
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,788	10.35
上東 洋次郎	1,458	5.41
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	711	2.64
上東 好子	638	2.37
株式会社りそな銀行	563	2.09
株式会社三井住友銀行	503	1.87
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.61
日本生命保険相互会社	403	1.50
日本金銭機械従業員持株会	320	1.19

(注) 1. 当社は自己株式を2,741,263株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野で、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして新たな価値を提供し、グローバル企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。

(百万円) 売上高の推移 ■ 単体売上高 ■ 連結売上高



1960-1970年代

電子化・インライン化

百貨店、スーパーの大型化に伴い、レジスターは売上集計のためのコンピュータ端末機へ。当社製品はレジスター機能の優秀さからコンピュータメーカーのOEM需要が旺盛となる。

1980-1990年代

鑑別・計数技術の応用から独自技術の開発・活用へ

鑑別、計数、分別等当社がもつノウハウを複合化することで新たな製品開発を目指す。硬貨搬送等の独自技術をベースにパチスロメダルの自動搬送システムを完成。遊技場市場における当社の地位を不動のものとする。

2000年代

欧米市場への貨幣処理機器事業の展開/遊技場関連機器のニーズに対応

多国紙幣対応紙幣識別機の販売を開始。遊技場向機器事業も順調に成長し、もう一つの収益の柱になる。

2010年以降

コアとなる識別・搬送技術を追求め、時代を先取りする技術革新につなげる

グローバルゲーミング事業、遊技場向機器事業では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を活用し、シナジー効果を受容するとともに、総合コンポーネントサプライヤーとしての地位を確立。コマーシャル事業では未開拓市場への積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す。



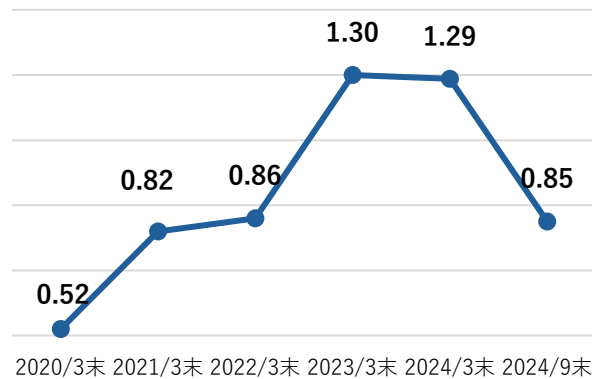
株価の推移



PBR

0.85倍 (2024/9末)

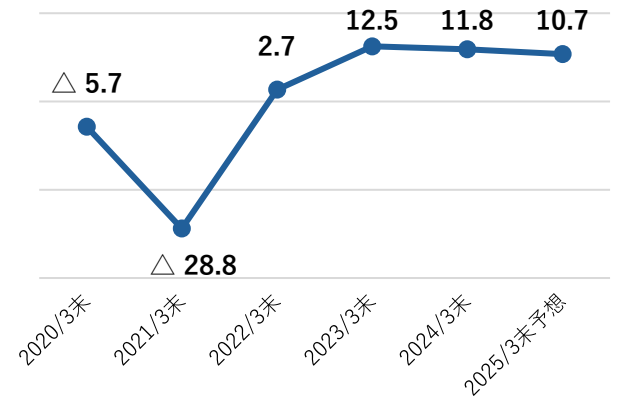
持続的な維持・向上に
向けた基準値
1.0倍以上



ROE

10.7% (2025/3末予想)

中期経営計画目標値
8%以上



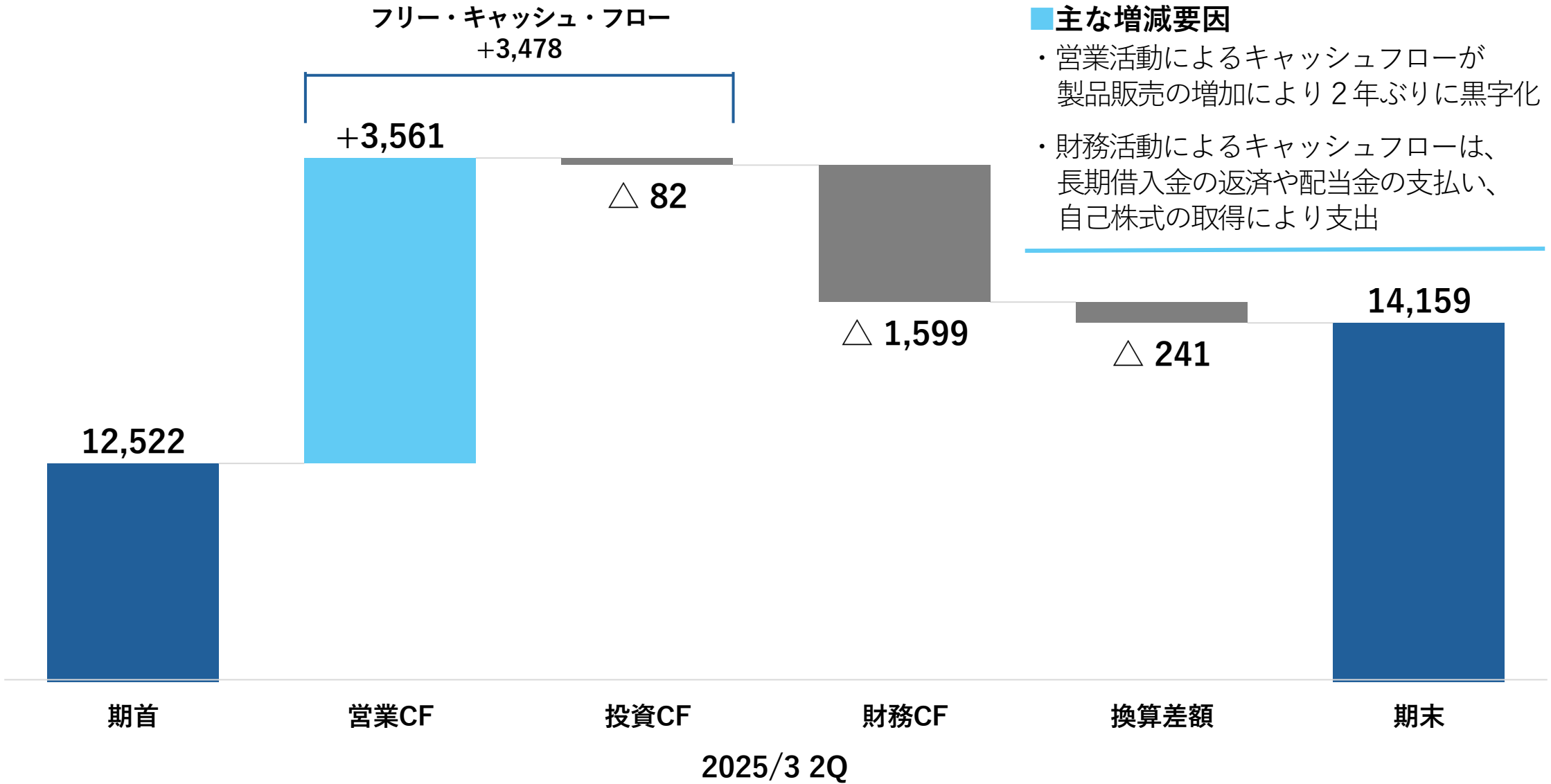
■ 資産、負債及び純資産：+36億35百万円

- 流動資産 +35億47百万円：主に現預金、売上債権の増加
- 固定負債 +2億94百万円：新規借入金による増加

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2024/9末	増減
	現預金・有価証券	13,711	12,580	14,200	+1,619
	売掛債権	5,005	7,056	9,246	+2,190
	棚卸資産	11,610	19,564	19,394	△ 170
	その他	1,945	941	848	△ 93
流動資産合計		32,273	40,143	43,690	+3,547
	有形固定資産	3,338	3,950	3,969	+18
	無形固定資産	143	219	211	△ 8
	投資その他の資産	3,025	3,261	3,349	+88
固定資産合計		6,508	7,431	7,530	+98
	繰延資産その他	35	123	112	△ 10
繰延資産合計		35	123	112	△ 10
資産合計		38,816	47,698	51,333	+3,635

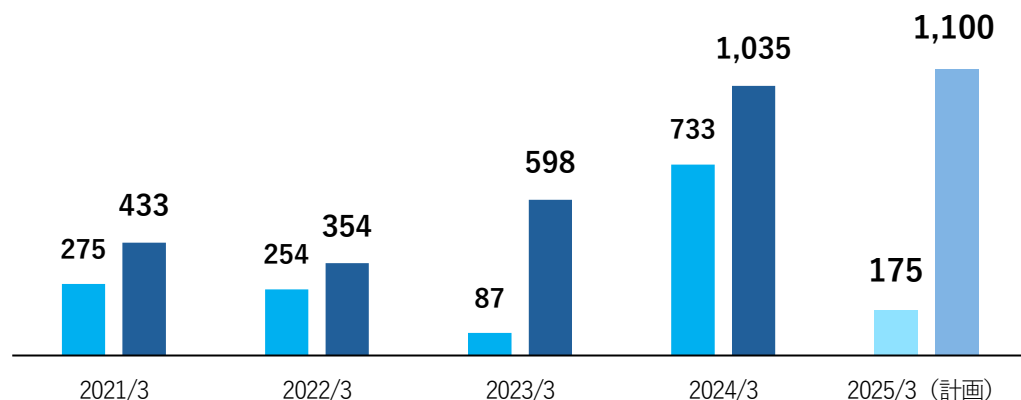
単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2024/9末	増減
	買掛債務	3,559	4,583	4,333	△ 250
	短期借入金	600	1,260	1,500	+240
	その他	3,466	3,417	4,017	+600
流動負債合計		7,625	9,260	9,850	+589
	社債・長期借入	3,500	9,540	9,870	+330
	その他	527	242	206	△ 35
固定負債合計		4,027	9,782	10,076	+294
負債合計		11,653	19,042	19,926	+883
	資本金	2,220	2,220	2,220	+0
	資本・利益剰余金	24,465	27,335	29,286	+1,950
	その他	477	△ 900	△ 99	+800
純資産合計		27,163	28,655	31,406	+2,751
負債純資産合計		38,816	47,698	51,333	+3,635

単位：百万円



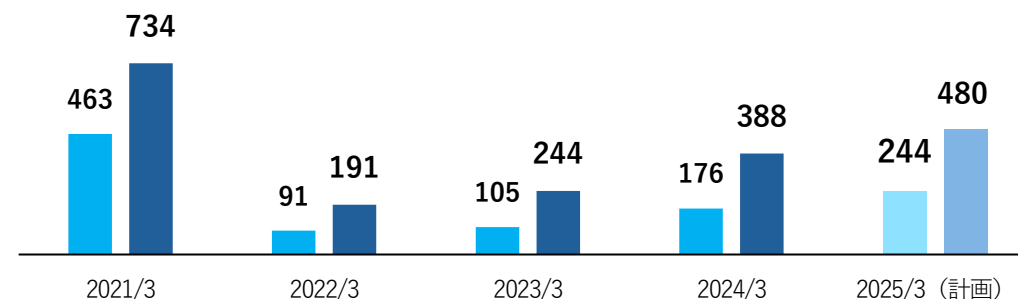
設備投資額

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



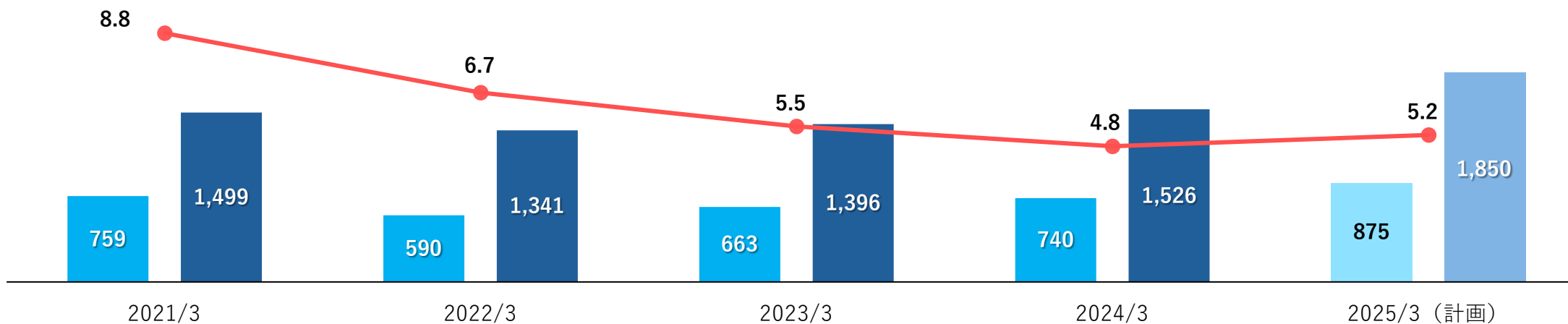
減価償却費 (のれん除く)

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



研究開発費・対売上高比率

■ 上半期 ■ 通期 (百万円) ● 対売上高比率 (%)



■ 為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3 予想
期中平均レート	米ドル	106.44円	110.37円	132.08円	141.20円	151.75円
	ユーロ	121.95円	130.37円	138.58円	153.20円	165.01円
売上高	米ドル	71	87	91	99	111
	ユーロ	33	35	48	59	66
営業利益	米ドル	29	30	11	14	37
	ユーロ	4	5	3	3	6
期末日レート	米ドル	110.72円	122.41円	133.54円	151.42円	—
	ユーロ	129.82円	136.85円	145.76円	163.38円	—
営業外損益	米ドル	40	42	40	33	—
	ユーロ	5	4	4	5	—

グローバルゲーミング



海外コマーシャル



国内コマーシャル



遊技場向機器



グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米州、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190のゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。



世界最大のゲーミングショー

Global Gaming Expo
ラスベガス



欧州最大のゲーミングショー

International Casino Exhibition
ロンドン



アジア最大のゲーミングショー

Global Gaming Expo ASIA
マカオ

■カジノ向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。



北米最大の金融・流通向け展示会
National Retail Federation 2024
ニューヨーク



アジアの金融・流通向け展示会
ASEAN Retail 2024
シンガポール



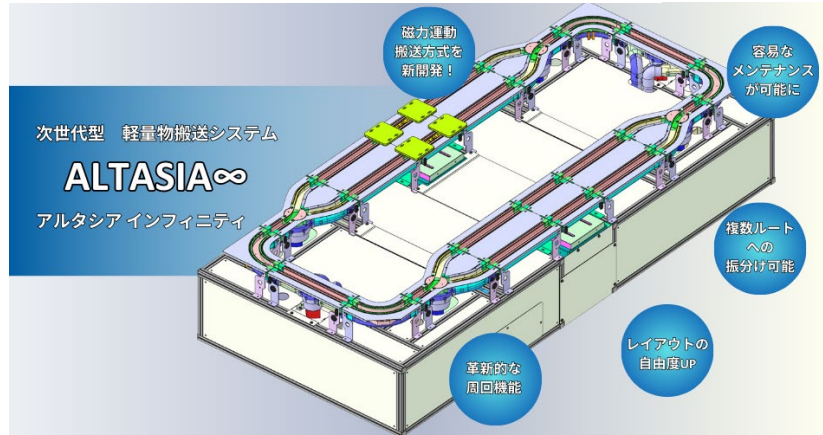
National Retail Federation Asia 2024
タイ



南米の金融・流通向け展示会
FEBRABAN TECH 2024
ブラジル

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。

■ALTASIA[∞]（アルタシア インフィニティ）が2024年度グッドデザイン賞を受賞



製品WEBサイト：[次世代型軽量物搬送システム ALTASIA[∞]](#)

ALTASIA[∞]は、遊技場向けの紙幣搬送システム（ALTASIA）に採用したエアと磁力による搬送駆動方式を用いて、本方式の特徴である省エネ運転と自由度の高い搬送経路などの優位性はそのままに、重量物等の対応を図ることで外食、小売り、物流等の幅広い産業分野での物品の供給や回収、工場内における物品搬送等の省力化を実現できる製品であります。

既に各企業との間で秘密保持契約を締結するなど、本製品の市場導入に向けた具体的な構想を着々と進めている段階であります。

[グッドデザイン賞 受賞掲載WEBサイト（次世代型軽量物搬送システム アルタシア[∞]）](#)

■地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンターと共同研究開発を開始



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

大阪国際がんセンターと「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するためのAI 判定支援システム」の共同研究開発を開始いたします。今後は、当社が貨幣処理機器分野で培ったコアテクノロジーを医療領域を始めとする様々な領域での貢献に向けて、挑戦してまいります。

ニュースリリース：[Go-Tech事業「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するためのAI 判定支援システムの研究開発」の共同研究を開始](#)

環境



気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope 1、2 について、2025年度までに温室効果ガス排出量30%削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標 (単位：t-CO₂)

2018年度 実績 (基準年)	2025年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2021年度 実績 (参考)
1,071	750	△30.0%	- カーボンニュートラル都市ガスの導入検討 - 省エネルギー性能の高い社屋への本社移転 - 本社、東京本社および長浜工場での再生可能エネルギーの導入検討 - 長浜工場およびフィリピン工場での太陽光パネル設置検討	970

人的資本



当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。

今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 (2024年3月期)
採用に占める 女性比率	単体	30%以上	38.8%
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20%	16.6%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書 https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html

日本金銭機械株式会社（日本語）

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global（English）

<https://jcmglobal.com>



過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。

「投資家情報」 → 「IRライブラリー」 → 「決算説明会資料」

お問合せ先： 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。